

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/10/7(月)

イザヤ24章

●今日の箇所を、イザヤが見させられた映像をイメージしながら読んでみよう。そこにはどのような嘆きや悲しみ、苦悩があるだろうか。

私たちが待っているのは何の希望もない灰色の世界だという預言がなされる中で、神がいるではないかという人もいた(14-16)。しかしイザヤは16節のように嘆く。それは民が神を裏切ったからだった。

●神様から離れて生きることは、どれほど神様の心を悲しませることか、今日の箇所を見ながら思い巡らしてみよう。そしてイエス様をあなたの罪のために死なせられた天の父の愛がどれほど深いものかを受け取ろう。

2024/10/8(火)

イザヤ25章

主が成し遂げる「遠い昔からの不思議なご計画」が語られている。イエス様によって実現した救いがどのようなものかを思いつつ、今日のみことばを読んでみよう。

神様は、イエス様が来られる前の時代に生きる人にも、神が与える救いを受け取ってほしいと願っていたけれど、当時この預言を語られていた民は神からの助けそのものを拒んでしまっていたんだ。

今、君はどれほどの思いで神様を求めているだろうか。どうすれば私たちは、心の底から神様が必要だと気づくのだろうか。聖霊の助けを求めつつ祈ろう。

2024/10/9(水)

イザヤ26章

●「その日」に実現する神様の祝福が語られている。その祝福を受けるのは「正しい人」とされているけれど、神の前に正しい姿というのはどのようなものだろうか？考えてみよう！（ルカ18:10-14）

●イザヤは主に信頼せよと呼びかけ、神様が正しいさばきを行い、平和を備える方であることを告げている。「みこころが天で行われるように、地でも行われますように」とイエス様が祈りを教えられたように、君の遣わされている場所でそのことを祈ろう！

2024/10/10(木)

イザヤ27章

●イスラエルが神様から離れて裁かれることになったけれど、神様は怒っているかな？4v

●神様の砦に頼りたいなら、どうしたらいいと言っているかな？5v

●神様から離れたイスラエルはあわれみの余地がないほどひどかったんだ。しかし、他の神ではなく神様をだけを頼れば、罪深いイスラエルすら罪から救い出してくださるんだ。そしてそれは、同じように罪を持つ私たちにも向けられるよ。罪をゆるしてくださる神様に感謝して、全ての人々が恵が注がれるように祈ろう！

2024/10/11(金)

ピリピ1:1-11

9-11vを読もう！

●ここは誰が、誰に対して祈っているところかな？

●祈りの中でパウロは同じ意味のことを言い方を変えて繰り返しているね。それは何か？ *ヒント：○○カ9v

●この祈りはピリピの人たちだけでなく、聖書を通して僕らにも向けられているし、僕らも祈って良い祈りだね。今日はまず自分のために、次にユースのメンバーのために、「大切なことを見分ける力」を求めて祈ろう！

2024/10/12(土)

ピリピ1:12-30

パウロはローマで捕まっている時も、逆に福音は広がっていることをピリピの人々に手紙で伝えているね。もちろんパウロの実際の状況は全てが楽しい、良いものではなくて、むしろ大変なことが多い。だけど、それでもパウロの目は自分の苦しみではなくて、福音の前進に向けられていたんだ。

一つ確かに分かるのは、イエス様の救いを信じて受け取っているから、この世の人生よりも、素晴らしい天国の約束がある。でも神様が命を与え、今その場所に置かれていることの意味や自分の役割を全力で生きているパウロがこの箇所で見ることができるね。彼の姿から私たちは何を学ぶことができるかな？考えてみよう！

2024/10/13(日)

ピリピ2:1-11

パウロはピリピの教会に、「キリストをかしらとするあなたがたは心と意思を一つにすることができる」と励まします。

私達も、人との関係で悩んだり、教会の仲間であっても、一致することの難しさを感じることもあるよね。ですが、神様が私たち一人ひとりを結び合わせてくださったこと、キリストのからだである兄弟姉妹である、ということに立つ時、神様が私たちを一つにしようとされていることに気がつくことが出来るはず。頑張っ一つになろう！とするのではなく、神様が一つとしてくださっていることにまず感謝しよう。

そのことを祈る時に、思わされることはなんでしょうか。静まり、祈ってみよう。そして、私たちの教会がさらに一致して歩むことができるように祈ろう！！